

THE HOKURIKU INDUSTRIAL ADVANCEMENT CENTER

# HIA C NEWS

ハイアック・ニュース

一般財団法人 北陸産業活性化センター会報誌

vol.117



# HIAC NEWS

## INDEX

01

### 北陸フェムテックネットワーク

- ・ 事業報告(2025.10~2026.3)
- ・ 2026年度 事業計画[主要行事]

05

### 北陸RDX活動報告(2025.10~2026.3)

09

### その他活動報告(2025.10~2026.3)

14

### 賛助会員ズームアップ「北電産業株式会社」



◎表紙画像 [写真提供：北電産業株式会社]

#### ウレシャス小松

小松駅前に誕生した地上10階建ての環境配慮型複合施設。豊富な井水を活用した冷暖房や最新の照明制御により50%以上の省エネを達成し、環境性能「ZEB Ready」を取得しています。

伝統的な「北前船フォルム」の外観と最先端のサステナブル性能を両立させた、次世代の地域交流拠点です。

# Event Report

## 北陸フェムテックネットワーク事業報告2025.10 ▶ 2026.3

### 【シンポジウム】

### 『北陸地域から考える女性活躍推進とフェムテックの活用』を開催

#### ◆趣 旨：

- 性差が更年期障害をはじめとした健康リスクや生活習慣病の発症にどのように影響するかを学ぶことで、男女間の健康課題の違いを理解する。
- 女性社員が活用しやすい就業・人事制度、フェムテックの活用により解決できる健康課題について考える。
- 経済産業省の実証事業補助金採択企業、北陸の企業等が提供する最新のフェムテック製品・サービスを体験する。

◆日 時：2025年10月15日 13:00～16:30

◆場 所：金沢市商工会議所1階ホール [オンライン併用]

◆共 催：経済産業省「令和7年度フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」、  
北陸フェムテックネットワーク（北陸産業活性化センター）

◆参加者：現地47名、オンライン52名

#### ◆内 容：

(1) 開会挨拶：経済産業省経済社会政策室 室長補佐 遠藤 佐知子 氏

(2) 報 告：北陸フェムテックネットワーク会長（芝浦工業大学 准教授） 平田 貞代 氏  
『北陸フェムテックネットワークの事業概要・取組状況』について



〔遠藤 佐知子氏〕



〔平田 貞代氏〕

#### (3) 講 演：

演題：『性医学の基礎—男女の健康課題の違いとフェムテックの役割』

講師：国立大学法人政策研究大学 教授 片井 みゆき 氏

要旨：「性差医学・医療」とは、男女共通の全疾患を対象に、生物学的性差(sex difference)、社会的文化的性差(gender difference)、ライフステージに伴う性ホルモン分泌の変動に配慮した医学・医療であり、性別や年代により症状や治療法が異なる。

ジェンダード・イノベーションとは、科学や技術に生物的・社会的性差分析を取り込み、イノベーションを創出する概念であり、過去の研究開発では、無意識に一方の性別に偏ったサービス、商品、制度が出来上がった事例が多くみられる。

1970年代後半、「妊娠の可能性のある女性を臨床試験に組み込むことは好ましくない」として、臨床試験の対象から女性が除外されたが、1980年代後半になって臨床試験で性差が考慮されない問題点が



指摘された。近年でも、医薬品の効果や副作用において、性差が顕著な事例が報告されている。

性差とライフステージ（男性、閉経前女性、閉経後女性）を考慮することで、新たなデータが得られる。

心筋梗塞による女性の死亡率は男性の2倍であり、症状や年代別発症頻度には大きな性差がある、20～35歳の胃がんは女性の方が多い、うつ病は女性が男性の2倍程度なりやすいが、うつ病に起因した自殺は男性の方が多い。

更年期は女性の健康課題が山積しており、更年期症状受診者の25%以上が他の疾患が原因であったことや、受診者の15%に甲状腺機能異常が見つかった統計がある。AMED「女性の健康の包括的支援実用化研究事業」により、女性専門外来10年間における約6万2千件の診療データの解析とエビデンスに基づく診断アルゴリズムを実装した「AI診断支援ナビゲーションシステムWaiSE」を開発し、社会実装を進めている。

**演題：**『性差によって生じる女性のライフステージの特有課題と最新フェムテック動向』

**講師：**一般社団法人 Femtech Community Japan  
理事 木村 恵 氏

**要旨：**男性と女性では、生涯において経験する健康の波（不調の時期）が大きく異なり、男性は人生の後半（中高年以降）に健康の波が生じるのに対し、女性は思春期以降、生涯を通じて健康の波が生じる。現代では、女性の社会進出など社会の変化とIoTやAIなどテクノロジーの進化が重なり、新たなフェムテック製品・サービスが出現している。

男女格差の現状を評価した「グローバル・ジェンダーギャップ・レポート」では、日本のジェンダーギャップ指数は148カ国中118位で、G7では最下位となり、特に政治分野で男女格差が大きい。高市首相誕生により改善が期待できる。

「女性版骨太の方針2025」では、フェムテックの利活用や普及に向けた施策が明記され、これまでは「個人の問題」と見なされがちだった健康課題を、経済成長や生産性に直結する要素として捉え、政策や経営戦略に組み込む動きが活発化している。

更年期は、キャリアの絶頂期、子育て、親の介護が重なる時期となる。一方、101人以上の企業において女性管理職比率の開示が義務化されたことから、企業にとっては40代以上の女性に長く働いてもらうことが必須となっている。こうした中、丸井Gでは女性の上位職志向停滞の原因の一つが更年期の健康課題であるとして、経営課題として更年期対策に取り組んでおり、第一生命HDでは専門家を招いたセミナーを実施する等「働く女性の更年期をどうサポートするか」への関心が高まっている。

更年期症状には“恥ずかしい”“話したくない”といった「タブー感」があることに加え、症状が多岐に渡り、個人によって重症度や頻度も異なるため、医師の理解やデータが不足しているという問題がある。

女性の更年期に関する健康情報を広めることを目的に、10月18日を「世界メノポーズ・デー（World Menopause Day）」と定められ、日本でも10月18日～24日を「メノポーズ週間」としている。ミシェル・オバマやジル・バイデンをはじめとした著名人が、更年期について、オープンに発信し、更年期サポートの流れを作っている。例として、イギリスでは「更年期症状への対策法案」が議会で審議され、企業等では更年期従業員のための福利厚生導入が広がっている。日本においても、更年期障害に関する職場での正しい知識の共有やサポートが重要である。

更年期障害に対応した最新のフェムテック製品・サービス事例（骨盤底筋を鍛えることによる失禁治療デバイス、更年期症状について、専門医に相談するチャットサービス、体調のログを人力することでAIがパーソナライズされた更年期症状の対策をアドバイスするアプリ等）を紹介する。



#### (4) パネルディスカッション【フェムテック製品・サービス提供・導入事業者・自治体による意見交換】

テーマ：「女性活躍を支える職場環境づくりの工夫（環境アセスメントを含む）」  
「持続可能な女性活躍推進の取組とは」  
「フェムテックが拓く新しい健康支援モデル」

モデレーター：一般社団法人Femtech Community Japan 理事 木村 恵 氏

パネラー：コマニー株式会社 人財開発部長 小坂 律子 氏  
一般社団法人PCEA連盟 代表理事 田中 愛乃 氏  
富山県商工労働部 働き方改革・女性活躍推進課 課長 建部 千尋 氏  
石川県商工労働部 産業政策課 課長 斎藤 健 氏  
福井県産業労働部 副部長 田中 睦 氏



#### (5) フェムテック製品等体験・ネットワーキング会

出展者：FUJIYAMA BRIDGE LAB、パナソニック株式会社、  
くらしアプライアンス社、株式会社SUSTAINABLEME、  
ユースの保健室×株式会社LIFEM、合同会社Salon Diosas、  
株式会社永田メディカル、一般社団法人PCEA連盟



## 【外部評価委員会】 外部評価委員による第三者評価を実施

【日 時】2025年12月2日、13:00～15:30

【場 所】オンライン

【出席者】外部評価委員 株式会社アーネストワン取締役会長 西河 洋一 氏  
同 広島大学デジタルものづくり教育研究センター長 林 隆一 氏  
北陸フェムテックネットワーク 会長、副会長、専門委員会委員長、事務局

#### 【内 容】

外部評価委員からの主な当年度事業活動に対する評価と今後の事業計画に対する助言

- ネットワーク形成ができていることは強みである。
- 誰が各活動をリードしているのか見えにくい。  
⇒リーダがファシリテートし、実行リストに落とし込んで活動を推進していくことが重要である。
- 地域の企業、大学等を巻き込み、若い人や女性の考え方を取り入れていくことが望ましい。
- ゴールとなる5年後の経済効果や雇用創出数等、経済的インパクトに関わる目標の明確化が必要である。
- 北陸地域の強みや課題を明確にし、地域特性を活用した独自のソリューション創出を目指すべき。

## 総会

【日 時】 2026年5月22日、13:00 ～ 15:30

【場 所】 ホテル金沢 5階 「アプローズ」 ※現地開催のみ

【プログラム】

### (1) 開会挨拶・事業紹介

北陸フェムテックネットワーク 会長（芝浦工業大学 准教授） 平田 貞代 氏

①2025年度事業実績

②2026年度事業計画

③役員紹介

### (2) 講演

演題：「政府における女性活躍推進の取組と北陸地域における女性活躍」

講師：前内閣総理大臣補佐官 矢田わか子政策研究所 代表 矢田 稚子 氏

要旨：日本では未だ男女の賃金格差が大きく、特に地方で若い女性たちの流出の要因となっている。労働力抑制による経済的損失も大きく、政府における取組を進めているが、道半ば。北陸地域では女性の就業率に比べて管理職比率が低く、フェムテック産業やデジタルスキルを磨いた女性活躍の推進が必須である。



### (3) 交流会

## デザイン思考による事業創出ワークショップ

【日 時】 2026年7月

【場 所】 北国ビル4F [オンライン併用]

【講 師】 東京大学医学部附属病院 バイオデザイン部門長 前田 祐二郎 氏 他  
(北陸フェムテックネットワーク 副会長)

## シンポジウム

【日 時】 2026年10月

【場 所】 オンライン

## 外部評価委員会

【日 時】 2026年12月

【場 所】 オンライン



デザイン思考による事業創出ワークショップ(昨年の様子)

## 北陸RDX活動報告 2025.10 ▶ 2026.3

### 「HOKURIKU Innovation Summit～北陸のプロダクトイノベーションを加速する～」

【日 時】 2025年12月9日、14:00～17:00

【場 所】 ホテル金沢

【参加者】 91名

【主 催】 北陸産業活性化センター、株式会社RICH

本イベントは昨年度に引き続き、経済産業省「産学融合拠点創出事業（産学融合先導モデル拠点創出プログラム）」、および中小企業庁「イノベーション・プロデューサー実証事業」の一環として、当財団と株式会社RICHの共催により実施しました。

今年度は「地域企業のイノベーションを支援するインパクト投資」をテーマに、基調講演やパネルディスカッション、ネットワーキングを通して先進的な知見の共有や意見交換を行いました。

第1部の基調講演では、金融庁の高岡 文訓氏より「サステナブルファイナンスと地域課題解決イノベーションの可能性」と題して、地域企業の成長と社会課題解決を両立させるための金融の役割について、サステナブルファイナンスやインパクト投資が、地域のプロダクトイノベーションをどう加速させるのか、国の政策動向や具体的な展望を交えて講演いただきました。

パネルディスカッションでは、「地域企業のプロダクトイノベーションとファイナンス」をテーマに、多様な視点から議論が展開されました。

第2部の「北陸イノベーション・ネットワーキング」では、登壇者や参加者が意見交換等により交流を図りました。

#### 【プログラム】

##### 第1部「北陸イノベーション・カンファレンス」

###### ◆基調講演：サステナブルファイナンスと地域課題解決イノベーションの可能性

講演：金融庁 総合政策局 総合政策課 サステナブルファイナンス推進室長

(兼)チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー 高岡 文訓 氏

###### ◆パネルディスカッション：地域企業のプロダクトイノベーションとファイナンス

北陸で活躍するキーパーソンを含むパネリストによる、地域企業のプロダクトイノベーションやそれを支援するインパクト投資に関するパネルディスカッション

<登壇者> 株式会社 Brighten Japan 代表取締役 澤田 渉 氏

北陸先端科学技術大学院大学 特任教授・スタートアップ推進室長 内田 史彦 氏

会宝産業株式会社 代表取締役社長 近藤 高行 氏

ファーマランタ株式会社 代表取締役CEO 柊崎 庄吾 氏

株式会社地域みらい 企画営業部 尾崎 利充 氏

<モデレーター> 北陸RDX 総括エリアコーディネーター / 株式会社RICH 代表 井熊 均 氏

##### 第2部「北陸イノベーション・ネットワーキング」



【基調講演】



【パネルディスカッション】



【ネットワーキング】

## 2025年度 工作機械企業向けデジタルシミュレーション研修

【日 時】 2025年12月15日、10:00～17:45・12月16日、9:20～17:00

【場 所】 石川県工業試験場 デジタル研修室

【参加者】 12名

【講 師】 名古屋大学大学院工学研究科 教授 社本 英二 氏  
石川県工業試験場 高野 昌宏 氏、根田 崇史 氏、吉田 勇太 氏

【研修テーマ】 切削加工、びびり振動の基礎と応用

【内 容】

### 1 日目 切削機構の理解(講義)

ミリング時の切削力測定と比切削抵抗同定(実習)  
インパルス応答法による機械の動剛性測定(講義、実習)

### 2 日目 びびり振動の理解(講義)

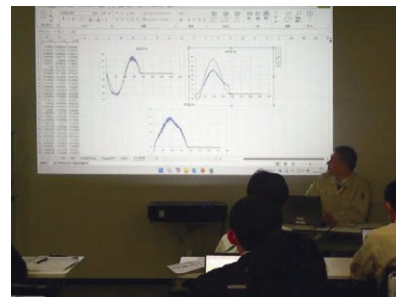
切削加工における各種びびり振動と発生メカニズム  
旋削における再生びびり振動  
エンドミル加工におけるびびり振動  
びびり振動抑制方法  
低剛性治具を用いたエンドミル加工時の安定限界線図の算出(実習)

【研修後の受講者アンケート結果】

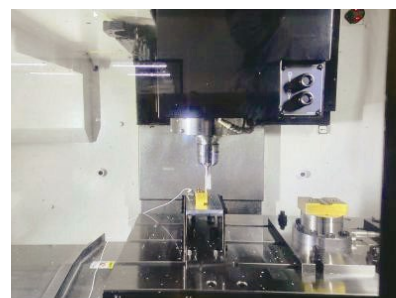
「あなたにとって、本研修は実務に役立つと思いますか」の問いに対し、90%以上が「とてもそう思う」、「そう思う」の回答でした。

【研修風景】

### 1 日目



### 2 日目



## 北陸DXアライアンス(HDxA)第9回総会

【日 時】 2026年1月20日、15:00～17:00

【場 所】 ホテル金沢〔オンライン併用〕

【内 容】

- (1) 開会挨拶
- (2) 北陸RDXの5年間の活動
  - ・北陸DXアライアンスと構成
  - ・グロースチームを中心とした活動
  - ・推進計画と成果事例
  - ・ESGファイナンスラボの取組
  - ・株式会社RICHの設立とこれまでの活動状況
  - ・KGI・KPI達成状況
- (3) 意見交換
- (4) 講評
- (5) 総括
- (6) 閉会挨拶



〔金井会長〕



〔会場の様子〕

開会の挨拶では、HDxA会長で北陸経済連合会会長の金井豊氏より、2021年の事業開始から5年目を迎え、本年度末でJ-NEXUS事業が終了することに触れつつ、これまでの活動に対する参画機関への深い感謝を述べられました。

また、ハンズオン支援を通じた具体的な実績や地域を超えたネットワーク形成が進んだことを評価し、次年度よりスタートする「新生・北陸RDX」への期待を語られました。

続いて、北陸RDX総括エリアコーディネーターの井熊議長より、5年間の活動総括と次年度以降の構想について報告が行われました。

報告の中では、産学官金の連携によって数多くの推進計画が創出され、事業化や資金調達において着実な成果が生まれたことが紹介されました。また、これらの活動を支えてきた人的ネットワークや情報発信の仕組みが、地域にとって重要な資産となっていることが強調されました。

さらに、来年度以降の体制として、プラットフォーム機能を持つ「新生・北陸RDX」と、その事務局機能およびハンズオン支援を担う「株式会社RICH」が連携し、持続的な支援システムを構築していく方針が示されました。

## 第5回グロースチームミーティング(ニーズファインディングミーティング)

【日 時】 2026年2月9日、15:30～17:30

【場 所】 ホテル金沢

【参加者】 23名

【内 容】

- (1) 演題：「医工連携による早期段階の医療機器開発を成功に導き、実用化を促進するために不可欠な視座」  
 講師：株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 ヘルスケア・事業創造グループ  
 担当部長・プリンシパル 南雲 俊一郎 氏  
 内容：事業化成功の基本視点、市場性と競合優位、戦略目標設定の重要性、  
 技術事業化における本質的課題、早期段階で求められる検証、先進技術の評価課題について
- (2) 大学研究者による話題提供
  - ①「低侵襲医療のためのラマン分光計測システム」  
 富山大学 工学系(工学)工学科 知能情報工学コース 特命教授 大嶋 佑介 氏
  - ②「細胞研究に不可欠な細胞分離の課題を解決する細胞分離デバイス『セルディバイド』」  
 富山大学 工学系(工学)工学科 応用化学コース 准教授 中路 正 様

## 「北陸RDX」5ヶ年最終報告&未来戦略カンファレンス

【日 時】2026年2月25日、12:00～13:00

【場 所】オンライン [アーカイブあり]

【参加者】130名

【内 容】

### 〈第一部〉北陸RDX 5年間の軌跡

北陸RDXの総括エリアコーディネーターで、株式会社RICHの代表を務める井熊均氏より、これまでの活動成果と今後の体制について報告を行いました。

### 〈第二部〉パネルトーク「北陸の勝ち筋 | 持続可能な地域イノベーション」

北陸の産学および経済産業省の本事業担当部署からゲストを迎え、井熊総括エリアコーディネーターのモデレートによるパネルディスカッションを行いました。

＜モデレーター＞

北陸RDX 総括エリアコーディネーター / 株式会社RICH代表 井熊 均

＜登壇者＞

アイディッシュ株式会社 / 下村漆器店 代表取締役 下村 昭夫 氏

北陸先端科学技術大学院大学 未来創造イノベーション推進本部長補佐 /

地域イノベーション推進センター長 中田 泰子 氏

経済産業省 イノベーション・環境局 大学連携推進室 係長 吉原 圭祐 氏

#### ◆トークテーマ1：北陸RDXの5年間を振り返って

「これまでの5年間で地域にどのような変化があったのか」など

#### ◆トークテーマ2：新生・北陸RDXとRICHへの期待、北陸の勝ち筋

「国の補助事業を卒業し、自走フェーズに入る新たな組織への期待」など

#### ◆トークテーマ3：持続可能な地域イノベーションに必要なもの

「今後もイノベーションを生み出し続けるために何が重要か」など

※配信しておりますので、是非ご覧ください。

<https://rdx.rich-hokuriku.co.jp/20260225>

(2026年5月24日まで公開)



### パネリストのご紹介



下村 昭夫

アイディッシュ株式会社 /  
下村漆器店 代表取締役



中田 泰子

北陸先端科学技術大学院大学  
未来創造イノベーション推進  
本部長補佐 / 地域イノベ  
ーション推進センター長



吉原 圭祐

経済産業省イノベーション・環  
境局大学連携推進室 係長  
(総括担当)



## その他活動報告 2025.10 ▶ 2026.3

### 「北陸産業活性化フォーラム」を開催

北陸地域の企業、大学、研究機関等の皆さまを対象に、異分野との技術交流や情報交換を通じて連携を深めていただくことを目的に、北陸経済連合会と北陸ものづくり創生協議会に参画していた研究会とともに、2012年度から開催しており、今回が13回目となります。

毎回その時々の方々の関心の高いトピックス的な話題をテーマとして取り上げており、今回は『2050年カーボンニュートラルに向けた再生可能エネルギーの社会実装戦略 ～ペロブスカイト太陽電池の技術革新と地域共生による主力電源化への挑戦～』を統一テーマに以下のとおり開催しました。

【日 時】 2026年2月20日、14:00～15:45

【場 所】 オンライン

【主 催】 北陸産業活性化センター

【共 催】 北陸経済連合会、ほくりく先端複合材研究会、NPO 法人北陸ライフケアクラスター研究会

【協 力】 経済産業省 中部経済産業局

【参加者】 41名

【内 容】

〈基調講演〉 演題：『ペロブスカイト太陽電池の実用化に向けた戦略と研究開発』

～ペロブスカイト太陽電池の歩み、実用化に向けた課題、産総研の取組について～

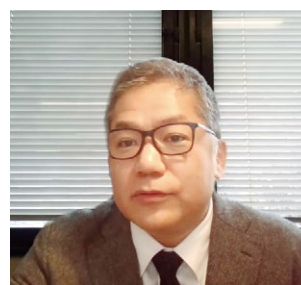
講師：産業技術総合研究所 再生可能エネルギー研究センター

ペロブスカイト太陽電池研究チーム長 村上 拓郎 氏

要旨：

ペロブスカイト太陽電池は軽量フレキシブルなどの特長があり本格的な実用化が期待されている。

他方、発電コストが系統電力より安価になることが重要であり、そのために耐久性や大面積化、製造コストといった複数の技術的課題の解決が重要である。関連分野における事業参入の可能性も依然として大きく、多くの産業界からの関心が高まっている。ペロブスカイト太陽電池の実用化に必要な技術は、高耐久化技術、量産化技術、評価技術である。耐久性の課題は材料特性に起因するものであり、屋外設置した際に加わる環境要因、すなわち湿度、温度、光、酸素による劣化から太陽電池を守り、製品寿命を延ばすための技術課題である。量産化に向けたペロブスカイトの成膜技術も低コスト化に向けて重要であり、また高い変換効率を得るためにも極めて重要である。



〈講 演〉 演題：『地域と共生した再生可能エネルギーの普及拡大に向けた取組』

～最近の事業規律強化の取組状況をはじめとした国の政策、

中部地域におけるペロブスカイト太陽電池の普及・拡大に向けた動きについて～

講師：経済産業省 中部経済産業局 資源エネルギー環境部

エネルギー対策課 課長 小林 弘和 氏

要旨：

エネルギーは国民生活や経済活動の基盤であり、我々の生活に欠かすことができないものとなっている。第7次エネルギー基本計画により、再生可能エネルギーを主力電源化し、最大限の導入を促すことで、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでいる。一方で、再生可能エネルギーには、傾斜地への設置など安全面での懸念の増大や、住民説明不足等による地域トラブルの発生、新たな再エネ適地の必要性など、さまざまな課題も存在している。こうした課題に対応するためには、地域との共生に向けた事業規律の強化が重要である。また、次世代太陽電池として注目されるペロブスカイト太陽電池の設置拡大も、再生可能エネルギー普及の鍵となる。



# 「産業技術総合研究所 北陸共創フォーラム2025 ～産学官民で紡ぐ人と技術と社会の未来～」を開催

産業技術総合研究所をはじめ、関連する企業・大学の技術シーズを紹介することを目的に、2000年度から開催しており、今回が29回目となります。

【日 時】 2026年2月24日、12:45～17:10

【場 所】 ハピリンホール(福井市) [オンライン併用]

【主 催】 産業技術総合研究所 北陸デジタルものづくりセンター・人間社会拡張研究部門、北陸産業活性化センター

【共 催】 株式会社 AIST Solutions

【後 援】 北陸経済連合会、福井大学

【協 力】 経済産業省 中部経済産業局 電力・ガス事業北陸支局

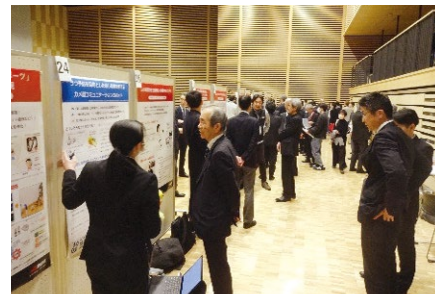
【参加者】 現地 51 名、オンライン 130 名



【開会あいさつ】



【パネルセッション】



【ポスターセッション】

## 【内 容】 ●開会あいさつ

産総研 人間社会拡張研究部門 研究部門長 蔵田 武志 氏

## ●北陸デジタルものづくりセンター施設・装置等の紹介

産総研 北陸デジタルものづくりセンター 所長 芦田 極 氏

## ●次世代スマートテキスタイル製品化コンソーシアム

産総研 スマートテキスタイル共創 研究グループ 主任研究員 中島 明哉 氏

## ●北陸から広がる新しい金属 AM の技術交流 ～北陸デジタルものづくり研究会～

産総研 3D 造形評価研究チーム 研究チーム長 中住 昭吾 氏

## ●絵文字によって記録される日々の気分・感情データ活用コンソーシアム

産総研 人間社会拡張研究部門 拡張介入オペレーション 研究グループ長 小林 吉之 氏

## ●IHI- 福井県 - 産総研 空のカーボンニュートラル先進複合材料連携研究ラボの概要

産総研 空のCN 複合ラボ 連携研究ラボ長 守屋 勝義 氏

## ●人を中心とした土木現場デジタル化の取組

コマツ開発本部先端・基盤技術センター シニアチーフエンジニア 松村 幸紀 氏

## ●ポスターセッション [ 産総研、福井大から 25 件の研究等を紹介 ]

## ●製造業の位置空間情報 活用事例 ～北陸で実現する最新 IoT 技術と現場 DX の実践～

株式会社不二越 参与 林 雅樹 氏

マルティス株式会社 代表取締役 那須 俊宗 氏

## ●未来を共に育てる研究開発 ～事例紹介と共創へのお誘い～

株式会社インテック 未来共創センター 永見 健一 氏

## ●大学を地域に拡張する：学生と地域企業によるモノ・コト共創の紹介

産総研 人間社会拡張研究部門 総括研究主幹 小島 一浩 氏

- 脳科学に基づく健康脳増進と障がい者支援

～福井大学や北陸地域の医療機関との連携例の紹介～

産総研 人間社会拡張研究部門 上級主任研究員 長谷川 良平 氏

- ふくい桜マラソンにおけるランニング DX サービスの試み

～データを軸とした強いビジネスを目指して～

産総研 人間社会拡張研究部門 スマートテキスタイル共創研究グループ長 村井 昭彦 氏

- パネルセッション「人×技術×地域が織りなす新たな価値創造」[パネリスト：各講演者]

- 閉会あいさつ

北陸産業活性化センター 常務理事 福井 聡

---

## 「北陸技術交流テクノフェア 2025」に出展

【開催日】 2025年10月23日～24日

【場 所】 福井県産業会館

【主 催】 北陸技術交流テクノフェア実行委員会

【内 容】 北陸経済連合会と合同出展し、当財団の事業概要や新事業創出助成事業、北陸RDX(経産省補助事業)の取組状況を紹介しました。



[展示ブース]

---

## 「T-Messe2025富山県ものづくり総合見本市」に出展

【開催日】 2025年10月30日～11月1日

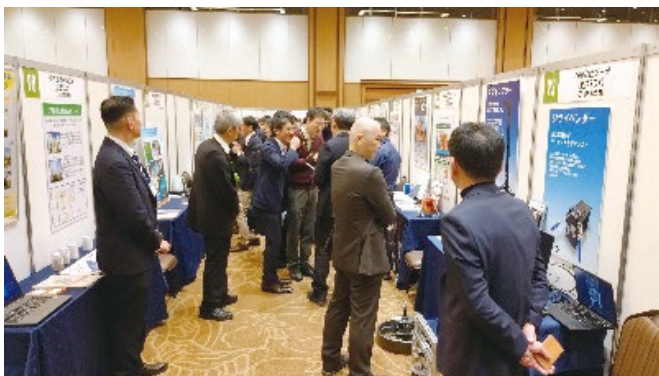
【場 所】 富山産業展示館(テクノホール)

【主 催】 T-Messe2025富山県ものづくり総合見本市実行委員会

【内 容】 北陸経済連合会と合同出展し、当財団の事業概要や新事業創出助成事業、北陸RDX(経産省補助事業)の取組状況を紹介しました。

## 「Matching HUB Hokuriku 2025」に出展

- 【開催日】 2025年11月13日～14日
- 【場 所】 ANAクラウンプラザホテル金沢
- 【共 催】 北陸先端科学技術大学院大学支援財団、JAIST支援機構、中小企業基盤整備機構北陸本部、北陸産業活性化センター、富山大学、金沢大学、福井大学
- 【内 容】 当財団の事業概要や新事業創出助成事業、北陸RDX(経産省補助事業)の取組状況を紹介しました。北陸RDXの展示ブースでは、推進計画の中から以下の事業者が個別に展示・説明を行いました。



〔北陸RDXの展示ブース〕

| 事業者                   | 展示内容                               |
|-----------------------|------------------------------------|
| 北陸産業活性化センター(北陸RDX推進室) | 北陸RDXの事業概要                         |
| アイディッシュ株式会社・北電産業株式会社  | 「ディッシュクック」による新たな食事提供システム           |
| 有限会社ジータ               | 「SmallStart・QuickWin」+自在化技術による製品提案 |
| 株式会社エコシステム            | モバイルできる生コンプラント                     |
| 株式会社地域みらい             | LiDAR SLAMを用いた三次元空間情報の活用           |
| 株式会社田中建設              | 廃石膏ボードの国内初の固化材再資源化によるリサイクル事業       |
| 会宝産業株式会社              | リユースバッテリーを定置電源システムとして利用            |
| 株式会社マイクロエミッション        | 液体電極プラズマ発光方式小型元素分析装置               |
| 株式会社Dioptra           | データ駆動型インフラ管理ソリューション                |
| 株式会社RICH              | 事業の種の事業化、スタートアップ支援について             |

## 「第43回理事会」を開催

- 【日 時】 2026年3月18日、12:20～13:40
- 【場 所】 ホテル金沢
- 【出席者】 理事6名、監事2名
- 【内 容】 議決事項3件、報告事項6件  
「2026年度 事業計画書(案)」 「2026年度 収支予算(案)」  
「第37回評議員会の開催(案)」 他



## 「第37回評議員会」を開催

- 【日 時】 2026年3月25日、12:50～14:10  
【場 所】 ホテル金沢  
【出席者】 評議員6名  
【内 容】 議決事項2件、報告事項6件  
「2026年度 事業計画書(案)」  
「2026年度 収支予算(案)」 他



## 2026年度の主な行事予定

| 行事名                        | 開催日        | 開催場所             |
|----------------------------|------------|------------------|
| 新事業創出助成(公募)                | 4月～5月      | —                |
| 北陸フェムテックネットワーク総会           | 5月22日      | ホテル金沢            |
| 監事監査                       | 5月29日      | 北国ビルディング         |
| 第44回理事会                    | 6月2日       | ホテル日航金沢          |
| 新事業創出助成(審査、契約)             | 5月～6月      | —                |
| 第38回評議員会                   | 6月18日      | ホテル金沢            |
| デザイン思考による事業創出ワークショップ       | 7月         | 北国ビルディング(ハイブリッド) |
| 北陸フェムテックネットワーク シンポジウム      | 10月        | オンライン            |
| 北陸技術交流テクノフェア 2026          | 10月22日～23日 | 福井県産業会館          |
| イノベーションシーズ講演会              | 10月～2月     | 金沢市内             |
| Matching HUB Hokuriku 2026 | 11月18日～19日 | ANAクラウンプラザホテル金沢  |
| 工作機械企業向けデジタルシミュレーション研修     | 11月～12月    | 金沢市内             |
| 第6回北陸ヘルスケア産業推進連絡会          | 3月         | オンライン            |
| 第45回理事会                    | 3月中旬       | 金沢市内             |
| 第39回評議員会                   | 3月下旬       | 金沢市内             |

※ホームページでも、イベント等について随時ご案内しております。ぜひご覧ください。

# 北電産業株式会社

創業 1974年(昭和49年)6月  
所在地 富山市牛島町13番15号  
資本金 1億円  
従業員 520名

事業内容 ビル・不動産、人材派遣、保険・リース、物販・ネット販売  
(百選横丁)、旅行(ほくでんツアーズ)、介護福祉、原子力(放射線管理、警備・防災管理)、熱供給、屋外広告  
(電柱広告)など

ホームページ <https://www.hs-k.co.jp/>



代表取締役社長  
長 高英氏

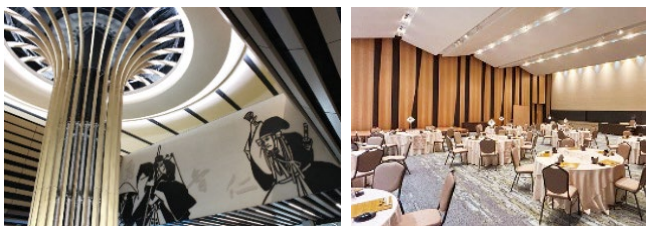
北陸地域の持続的な発展や豊かな暮らしの実現と社会全般の課題解決に取り組む北電産業の長社長にお話を伺いました。

## ■ 弊社の概要

弊社は北陸電力グループの一員として、1974年の設立以来、その時々ニーズに応じて事業領域を見直しながら、現在では、ビル・不動産、人材派遣、保険・リース、物販、旅行、介護福祉など、地域の暮らしとビジネスを支える多角的な事業を展開しています。主業であるビル・不動産事業においては、「アーバンプレイス」(富山駅北口)をはじめとするオフィスビルや駐車場の賃貸、設備管理・環境衛生管理・警備・清掃などの業務を通じ、快適なビジネス環境の創造に努めてまいりました。また、近年では単なるビル・不動産の管理に留まらず、周辺地域の賑わいづくりに向けた各種プロジェクトにも積極的に参画しています。

## ■ 新ランドマーク「ウレシャス小松」による賑わい創出

2024年3月の北陸新幹線延伸開業により、アクセスが格段に向上した小松駅。その駅前に、2025年10月、弊社子会社が北陸電力とともに建設を進めてきた「ウレシャス小松」が開業しました。名称の「ウレシャス」は、小松弁の「うれっしゃ(嬉しい)」と英語の「precious(愛おしい)」を組み合わせた造語で、訪れた人に喜びを感じていただける環境を提供し、多くの方々に本ビルを永く親しみ愛していただきたいという想いが込められています。



かつて北前船で栄えた小松の歴史を投影した「北前船フォルム」の外観が特徴で、内装にも伝統工芸を取り入れ、地域の魅力を未来へ継承するデザインとしました。

最大870名収容可能な多目的ホールを備え、空港や高速道路も至近という利便性を活かし、多彩な催事にも対応が可能です。「小松駅東地区複合ビル活用促進協議会」とも連携し、駅周辺の持続的な賑わい創出に貢献してまいります。

## ■ 「百選横丁」を通じた能登復興への取組

物販事業では、北陸の逸品を全国へ届けるECショップ「百選横丁」を軸に、地域の魅力を発信しています。

特に、はがきサイズのカタログギフト「北陸百選横丁ギフト」は、その利便性と縁起の良いデザインから、慶弔やビジネスの手土産として広くご活用いただけます。



2025年4月には、グループの「能登復興応援プロジェクト」の一環として「能登応援コース」の販売を開始しました。被災地の事業者様をはじめとする関係各位のご協力のもと、能登産品のみを厳選したラインナップとなっており、おかげさまで能登地域の復興を願う全国各地の皆様から数多くのご注文をいただいています。なお、本コースの売上の一部を復興支援金として石川県に寄付することとしています。これからも本ギフトを通じて全国へ能登の魅力を届け、消費の輪を広げること、持続的な復興支援に寄与してまいります。

## ■ 「つなぐ、その先へ ～変化をおそれず、私らしく～」

弊社は2024年の創立50周年を機に、新たにコーポレートメッセージスローガン「つなぐ、その先へ ～変化をおそれず、私らしく～」を制定しました。私たちは、社会情勢が大きく変化する中、「安全・安心のサービス」という原点を大切にしながら、多様な事業で培った経験を融合させ、これからの時代にふさわしい価値やサービスを形にすることで、北陸地域の持続的な発展や豊かな暮らしの実現に貢献してまいります。